

## 動物病原体・衛生管理学

学科		シラバス(概要)
コース		
履修条件	自律学習修了し理解度確認課題提出した者	病原性をもつ微生物が生体に侵入して増殖した結果、動物に疾病(感染症)が生じる。動物看護師は、感染症に罹った動物を看護しなければならないことが多く、病原体の正確な知識を持たなければ、院内感染が拡大し、自身が感染する危険性も生じる。「動物感染症学」で学んだ、個々の動物の生命と健康の維持に障害を及ぼす病原体の知識をもとに、これらの病原体によって引き起こされる感染症をどのように予防するかを考える。その中でワクチンについても理解し、動物を健康に管理する知識を身につける。また、感染症の予防の重要性を飼い主に伝えられるようになるために必要な基礎知識を確認する。
ユニット	高位平準動物看護概論	
科目名	動物病原体・衛生管理	
単位		
履修時間	30時間の中の3時間	
回数	10回の中の1回	
授業形態	対面授業	評価方法
作成者		
教科書	動物看護コアテキスト3 動物の疾病と予防及び回復(ファームプレス)	本講座3時間目に対面学習確認テストを実施する。また、10回目授業時に最終確認テスト(8教科分:五択問題)を受け、60%以上正答の受講者には修了証が発行される。
参考図書	①動物看護の教科書第2巻、3巻(緑書房)②動物看護のための小動物衛生学(ファームプレス)	

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	病原体と感染症の成立	1.シラバスとの関係	感染症の予防について、まずは感染の成り立ちを振り返り、感染を成立させない方法を考える。	
		2.コマ主題	感染が成り立つ3つの要因を振り返り、感染予防について考える。	
		3.コマ主題細目	感染が成立する3つの要因や、感染過程について理解する。	
		4.コマ主題細目深度	①感染源と感染経路を絶つ方法を考える。身近な感染症を例に、どのような方法が有効かを考え、発表する。②宿主の抵抗力に影響するもの(環境因子の排除、ワクチンの利用)について学ぶ。環境因子にはどのようなものがあるかを知る。③病原体が海外から侵入しないようにするために、どのような対策がとられているかを知る。	
		5.次コマとの関係	体内の免疫システムについて知る。	
2	感染症の予防と管理	1.シラバスとの関係	感染症の制御について学び、予防に有効なワクチンについて復習する。飼い主にワクチン接種の重要性を伝えられるようになる。	
		2.コマ主題	ワクチンとは何かを説明できるようになる。	
		3.コマ主題細目	予防ワクチンとは何かを理解し、種類、時期、プログラムを理解する。飼い主にワクチンの必要性が指導できるよう知識を習得する。	
		4.コマ主題細目深度	ワクチンとは、免疫の仕組みを利用して感染症を予防するものである。免疫学的記憶(一次応答、二次応答)とワクチンとの関係を理解する。	
		5.次コマとの関係	免疫について整理した知識を得る。	
3	免疫についてまとめと確認テスト	1.シラバスとの関係	免疫系の基本的なしくみを理解する。	
		2.コマ主題	自然免疫と獲得免疫、抗原と抗体、リンパ球などについて整理された知識を習得する。	
		3.コマ主題細目	免疫学的記憶、獲得免疫の細胞性免疫、液性免疫などについてワクチンの重要性を飼い主に説明するときに納得してもらえるよう説明可能な知識を習得する。	
		4.コマ主題細目深度	難解と思いがちな免疫について、わかりやすく飼い主に説明できるように自身の知識を整理してみる。ワクチン接種の必要性を十分に理解してもらえるような理解をする。	
		5.まとめと確認テスト		